

問 47 あなたが、子どもや育児のことで悩んだときに、相談するのはどなたですか。
頼りになる方について、それぞれ1つずつ選んで、()にお答えください。

- ① 学生時代からの友人 ② 保育園・幼稚園を通しての友人
- ③ 保育園・幼稚園以外の子どもを通しての友人
- ④ 夫を通しての友人 ⑤ 近所や地域の人たち
- ⑥ 仕事を通しての友人 ⑦ 趣味を通しての友人
- ⑧ 自分の親やきょうだいや親戚 ⑨ 夫の親やきょうだいや親戚
- ⑩ 夫 ⑪ 専門家(医師・保健婦・電話相談など)
- ⑫ 保育園・幼稚園の先生や職員 ⑬ その他()
- ⑭ 特に誰もいない

もっとも頼りになる方……………()番

2番目に頼りになる方……………()番

3番目に頼りになる方……………()番

問 48 では、あなたが、ご自身のことで悩んだときに、相談するのはどなたですか。
頼りになる方について、それぞれ1つずつ選んで、()にお答えください。

- ① 学生時代からの友人 ② 保育園・幼稚園を通しての友人
- ③ 保育園・幼稚園以外の子どもを通しての友人
- ④ 夫を通しての友人 ⑤ 近所や地域の人たち
- ⑥ 仕事を通しての友人 ⑦ 趣味を通しての友人
- ⑧ 自分の親やきょうだいや親戚 ⑨ 夫の親やきょうだいや親戚
- ⑩ 夫 ⑪ 専門家(医師・保健婦・電話相談など)
- ⑫ 保育園・幼稚園の先生や職員 ⑬ その他()
- ⑭ 特に誰もいない

もっとも頼りになる方……………()番

2番目に頼りになる方……………()番

3番目に頼りになる方……………()番

問 49 現在、育児で悩んでいること、ご苦労されていることがあればご自由にお書きください。

問 50 あなたにとって、今後、どのような保育サービスや制度を社会的に充実していくことを希望されますか。それぞれについて、あてはまるものに○をしてください。

	できれば	現状で		
	特に必要だ	必要だ	よい	必要ない
A. 乳児保育……………① (出産後・出産休暇後できるだけ早く預かってくれる)	②	③	④	
B. 病児保育……………① (子どもが軽い病気の時にも預かってくれる)	②	③	④	
C. 障害児保育……………① (一般の園で障害児を預かってくれる)	②	③	④	
D. 早朝保育……………① (朝の保育開始時間を早める)	②	③	④	
E. 延長保育・預かり保育……………① (保育終了時間を延ばす)	②	③	④	
F. 夜間保育……………① (夜間も子どもを預かってくれる)	②	③	④	
H. 休日保育……………① (日曜・祝日にも子どもを預かってくれる)	②	③	④	
I. 一時保育……………① (一時的・緊急的に子どもを預かってくれる)	②	③	④	
J. 親子で参加する育児教室事業……………①	②	③	④	
K. 電話による相談事業……………①	②	③	④	
L. 家庭訪問による相談事業……………①	②	③	④	
M. 児童手当などの増額・期間延長……………①	②	③	④	
N. 子どもの医療費の減免の充実……………①	②	③	④	
O. その他 () ①	②	③	④	

問 51 あなたがお子さんの世話をできないときに、お願いする方はどなたですか。子どもを預けることが多い順番に、それぞれ1つずつ選んで()にお答えください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| ① 学生時代からの友人 | ② 保育園・幼稚園を通しての友人 |
| ③ 保育園・幼稚園以外の子どもを通しての友人 | |
| ④ 夫を通しての友人 | ⑤ 近所や地域の人たち |
| ⑥ 仕事を通しての友人 | ⑦ 趣味を通しての友人 |
| ⑧ 自分の親やきょうだいや親戚 | ⑨ 夫の親やきょうだいや親戚 |
| ⑩ 夫 | ⑪ 有料の保育サービス |
| ⑫ その他 () | ⑬ 特に誰もいない |
- もっとも頻繁に頼む方…………… () 番
 2番目に頼む方…………… () 番
 3番目に頼む方…………… () 番

問 52 あなたにとって、お子さんとはどのような存在ですか。

おもなもの3つに○をしてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 心の安らぎを与えてくれる | ② いないとさみしい |
| ③ 生活を充実させてくれる | ④ 夫婦の関係をつなぐ |
| ⑤ 社会の担い手となる | ⑥ 生きがい |
| ⑦ 自分を成長させてくれる | ⑧ 自分の分身 |
| ⑨ 相談相手・話し相手 | ⑩ 老後の面倒をみてもらう |
| ⑪ 家を継ぐ | ⑫ いざというときにあてになる |
| ⑬ 一人の独立した個人 | ⑭ 生活に楽しさを与えてくれる |
| ⑭ その他 () | |

問 53 子育てに関する次のような意見に対して、あなたはどのように思われますか。

それぞれについて、□の中からあてはまる番号を1つ選んで()内に記入してください。

- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| ① そう思う | ② ややそう思う | ③ あまり思わない | ④ そう思わない |
|--------|----------|-----------|----------|

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 1. 子どもが小さいうちは、育児に専念すべきである。 | () |
| 2. 女性が仕事をするなら家事・育児の責任を果たした上ですべきである。 | () |
| 3. 育児は父母が対等にすべきである。 | () |
| 4. 子育てと家事だけで一生を終わらせたくない。 | () |
| 5. 子離れはできるだけ早くした方がいい。 | () |
| 6. 育児期は子どもに自分の人生を犠牲にされるのも仕方がない。 | () |
| 7. 育児によって母親は成長する。 | () |
| 8. できるだけ、自分の生き方・生活を大切にしたい。 | () |

問 54 「夢」のある、楽しい子育てをするためには、どのような条件が必要だと思いますか。 ご自由にお書きください。

【質問はこれで終わりです。長い間、ご協力いただきありがとうございました。】

本研究は、平成13年度厚生省科学研究費補助金政策科学推進研究事業
により実施されたものです。

少子化の要因と地域分析に関する調査研究報告書

2002（平成14）年3月発行

少子化の要因と地域分析に関する調査研究委員会
（主任研究者 佐藤秀紀 青森県立保健大学）

〒030-8505 青森県青森市浜館間瀬 58-1 青森県立保健大学
TEL 017-765-2083（研究室直通）／FAX兼）